

# てんかん患者さんの社会復帰支援・ 精神科デイケアについて

## 本日の内容

---

- ◇てんかん患者さんに関する発作以外の症状
- ◇社会復帰支援に関するリハビリ・リソース
- ◇精神科デイケアについて
- ◇当院におけるてんかん患者さんの社会復帰支援
- ◇社会復帰支援をする際に…

# てんかん患者さんに関する発作以外の症状 1

てんかんは精神症状の合併率が高く、生涯に3人に1人が経験するといわれている。  
精神症状は患者のQOLに大きな影響を及ぼす。

## 精神発作

側頭葉てんかんなどに多く、恐怖 (ictal fear) や既視感 (déjà vu)などを発作症状として示すことが多い

## 発作後精神病状態

てんかんに特異な状態であり、てんかんに伴う精神病状態の約1/4を占める。  
躁的な気分や誇大性、攻撃性、抑うつ気分など、気分障害の色彩が強いのが特徴で、  
その上に幻覚妄想などが混在する。衝動性が著しく高まると自傷他害に至るケースもある。

## 外科手術後の精神症状

最も多いのは抑うつ症状 (8~10%)。術後3か月までに発症し、発作転帰にかかわらず  
18か月以内に寛解する。症状は軽度~最重度まで様々。外科手術後の自殺リスクも高く、  
その背景に「**正常であることの重荷**」があるともいわれている。  
→発作消失によって保護的で寛容な環境を失い、正常な活動を期待される心理社会的な負担



臨床てんかん next step 知的障害・自閉症・認知症から併発精神障害まで (吉野裕夫 監訳) 新泉学出版 (2013) より

# てんかん患者さんに関する発作以外の症状 2

## 知的障害

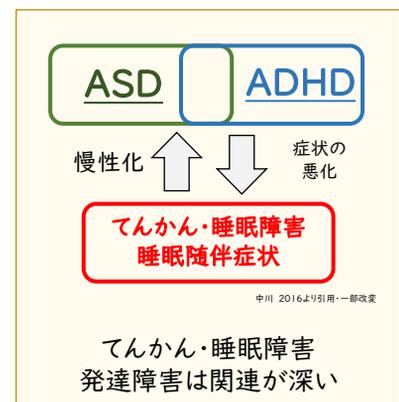
\* 一度発達した知的機能が成人以降に障害された場合は、厳密には知的障害と呼ばない (= 高次脳機能障害・認知症)  
精神発達遅滞と呼ばれることもあり、18歳までに生じるものを呼ぶ

## 発達障害 (神経発達症)

神経発達症ではてんかんの併存率が高く、  
**ASD [自閉症スペクトラム症]** は約5~38%  
**ADHD [注意欠陥多動症]** では約12~17%

また、てんかん児の

約20%で**ASD**、約30%で**ADHD**の併存  
発達障害児は睡眠障害の合併が多く、  
**ASD**では53~78%、**ADHD**では25~50%に  
**睡眠障害**を併存する という報告もあります



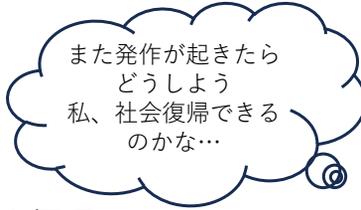
# てんかん患者さんが直面するスティグマ

## 社会的スティグマ

社会からの偏見

## セルフスティグマ

自分自身の疾患や属性に対して抱く偏見



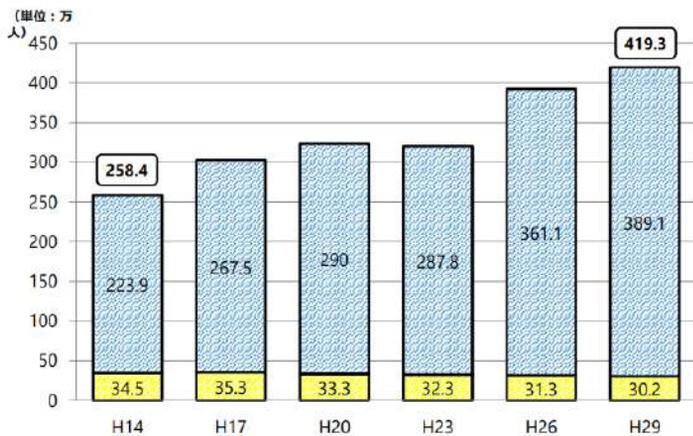
発作のコントロールのほかにもQOLの向上も大切

特に、**セルフスティグマの強さ**が受診の遅れや治療継続の困難さ、さらには患者自身の自尊感情や自己肯定感の低下といった**精神疾患からの回復の妨害要因**となる

てんかん患者さんにおける**セルフスティグマ**も、ほかの精神疾患と同様に受療行動や治療効果、**患者の予後や生活の質として大きく関与していると考えられている**

精神経路てんかん患者のセルフスティグマの実態とその低減に向けて倉持泉ら (2022)

# 精神疾患を有する患者数の推移



- ・精神疾患を有する患者数は年々増加
- ・入院患者数減少
- ・外来での治療を中心としている患者数が増加している

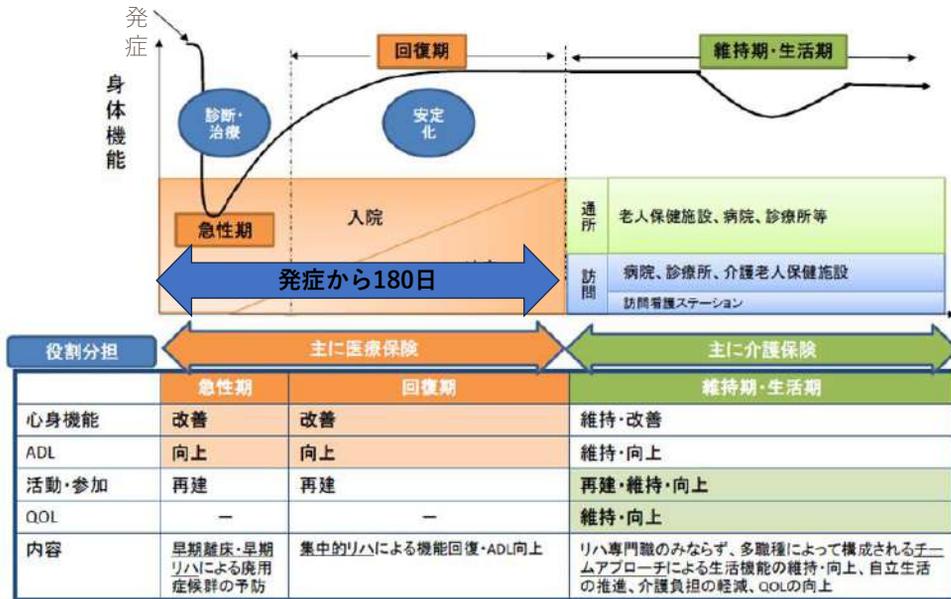


厚生労働省

資料：厚生労働省「患者調査」より作成

※H23年の調査で宮城県の一部と福島県を除いている

# 一般的なリハビリテーションの流れ



# 障害福祉サービスなど

## 利用期限がほぼない



就労継続支援B型

雇用契約	なし
利用料	自己負担が発生する場合がある(所得・世帯収入による)
平均工賃	16,369円/月額 223円/時間額
対象年齢	年齢制限なし
利用期限	規定なし



就労継続支援A型

雇用契約	<b>原則あり</b> 最低賃金が適用
利用料	自己負担が発生する場合がある(所得・世帯収入による)
平均賃金	78,975円/月額 887円/時間額
対象年齢	<b>原則65歳未満</b>
利用期限	規定なし

## 障害福祉サービスなど

### 利用期限あり

#### 就労移行支援



一般企業への就職することを希望する方に対して  
就職するために必要なスキルを身につけるための施設  
全国に約3300か所あり、多くは駅前などに店舗がある  
原則65歳未満で、**2年の利用期限がある**

(事情によって一年延長可の場合もある)

原則2年で就職を目指すので、  
できれば、就労の可能性が  
高い人を優先して受けない

就労を目的としている支援サービスが多く、てんかんに関わる社会生活上の問題を解決することを目的としているサービスではない

生活期や維持期にみられる精神科的な問題や  
社会生活の問題に対するリハビリテーション  
として・・・

**精神科デイケアがあります**

# 精神科デイケアとは 1

## 精神科デイケアとは：

- ・ 精神疾患や発達障害など、生活のしづらさを抱えている方が、その人らしい地域での生活を実現していくためのリハビリテーションの場。
- ・ **一人一人の回復過程に合った目標を担当スタッフと共有し、同じ立場の方々と一緒に様々な活動（プログラム）を行なっている。**



精神障害者の社会生活機能の回復を目的として個々の患者に応じたプログラムに従ってグループごとに治療するものであり、実施される内容の種類にかかわらず、その実施時間は患者一人当たり一日につき6時間を標準とする。（厚生労働省HPより）

# 精神科デイケアとは 2

## 精神科デイケアでの主な活動内容（NCNP例）：

心理プログラム（メタ認知、SST、ストレスマネジメント等）、  
疾患教育、運動系（ヨガ、ピラティス、ストレッチ等）、  
園芸、芸術、コミュニケーションプログラム、  
手工芸、レクリエーション、イベントなど、  
施設によって様々。



# 精神科デイケアとは 3

## 利用期間：

原則は決まっていない。（現在NCNPデイケアは2年が目安になっている）

## 利用対象者：

原則的に、精神科などへ通院している人のうち、症状が比較的安定している方が利用可能となる場合が多い。

※主治医から利用の了解が得られていることが大切な条件となる。

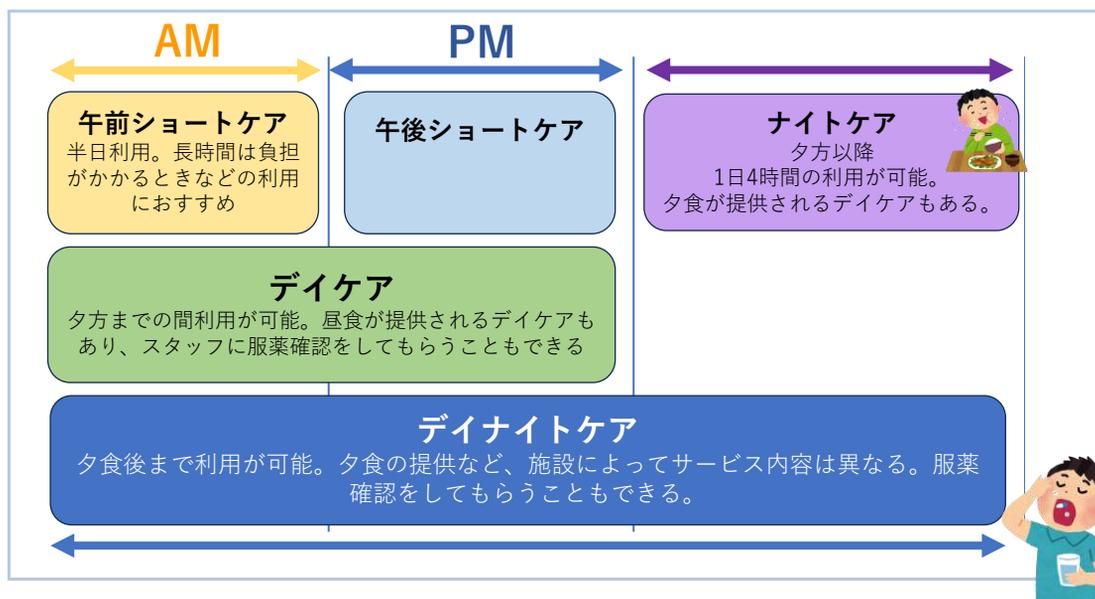
## よくある利用目的：

生活リズムを整えたい、人づきあいが上手になりたい、悩みを話せる居場所を求めている、就労・就学準備を考えている

## 所属スタッフ：

医師、看護師、心理士、作業療法士、精神保健福祉士、ピアスタッフ等多職種チームでの支援を提供している

# 精神科デイケア等の利用時間



# 精神科デイケア等の費用

## 費用について

	ショートケア	デイケア
3割負担の方	1,210 円 1年以内は 1,270 円	2,320 円 1年以内は 2,470 円
1割負担の方※	400 円 1年以内は 420 円	770 円 1年以内は 820 円

※自立支援医療を申請すれば1割負担になります。

扶養者の所得により、月々の上限額が設定されます。

ショートケア：小規模275点、大規模330点

デイケア：小規模590点、大規模700点

ナイトケア：1日につき540点

デйнаイトケア：1日につき1000点

◆精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア、精神科ナイト・ケア又は精神科デイ・ナイト・ケアのいずれかを最初に算定した日から起算して**1年を超える期間に行われる場合には、週5日を限度として算定する**。ただし、週3日を超えて算定する場合には、患者の意向を踏まえ、必要性が特に認められる場合に限る。

◆精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア、精神科ナイト・ケア又は精神科デイ・ナイト・ケアのいずれかを最初に算定した日から起算して**3年を超える期間に行われる場合であって、週3日を超えて算定する場合には、長期の入院歴を有する患者を除き、当該日における点数は、所定点数の100分の90に相当する点数により算定する**。

◆精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア、精神科ナイト・ケア又は精神科デイ・ナイト・ケアのいずれかを最初に算定した日から起算して**1年以内の期間に行われる場合にあっては、早期加算として、50点を所定点数に加算する**。

# 各地域の精神科デイケア

Tokyo Metropolitan  
Chubu Comprehensive Center for Mental Health and Welfare  
東京都立中部総合精神保健福祉センター 精神科デイケア

**復職・就労・進学復学 各コースのご案内**  
復職コース（作業訓練）  
就労/進学・復学コース（デイケア）

あなたに必要なプログラムが、ここにはある

東京都立中部総合精神保健福祉センターでは、疾患別・目的別コースを設置した先進的な精神科デイケアに取り組んでいます。

特に、自らの思考や行動の特性に気づき、再発のリスクを下げ、コミュニケーションスキルとライフスキルを様々なプログラムを通じて向上させることを目的とした「パッケージ型認知行動療法」に積極的に取り組んでいます。

職業能力回復のためのプログラム、コミュニケーション力向上のためのプログラム、疾患別の認知行動療法プログラム、集中力養成のためのプログラム、復職や就労に必要な知識を学ぶプログラムなど、コースに応じた多彩なプログラムに加え、丁寧な個別支援を行い、一人一人の目標達成をアシストします。

皆様のご利用をお待ちしております。

疾患別・目的別コース一覧表

気分障害 うつ病/双極性障害	統合失調症 統合失調症	認知症/学習障害 発達障害	気分障害 うつ病/双極性障害	認知症 認知症
個別セッション （個人/小グループ）	グループセッション （個人/小グループ）	ARAPセッション （個人/小グループ）	個別セッション （個人/小グループ）	個別セッション （個人/小グループ）
グループセッション （個人/小グループ）	グループセッション （個人/小グループ）	グループセッション （個人/小グループ）	グループセッション （個人/小グループ）	グループセッション （個人/小グループ）

個別セッション実績（復職率）  
平成17～令和4年度  
累計1,120名中1,000名88.6%  
\*コース終了後1年以内の復職率（概算）

一歩引寄せコース実績（就職率）  
平成22～令和4年度

東京都の場合は、  
精神保健福祉センターで  
復職や高次脳機能障害など  
各種コースが設定されています

各都道府県の精神保健福祉センターに  
デイケアが用意されていることが多いため、  
お住まいの地域で確認してみてください。

東京都立中部総合精神保健福祉センター ホームページより

# 当院における てんかん患者さんの社会復帰支援

## 社会復帰支援（移行ショートケアの位置づけ）

### 【対象となりそうな患者さん】



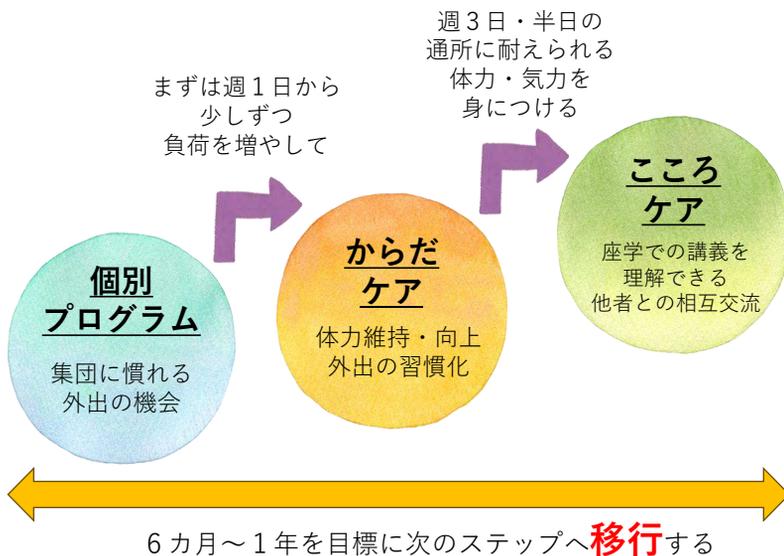
デイケアのような  
**集団は苦手**  
マイペースに  
次のステップへ



デイケアも不安  
でも何をしたら  
良いかわからない



入院して退職になった  
リワークではないため  
通える場所がない  
相談に乗ってほしい



## 社会復帰支援（NCNP移行ショートケアの概要）

### 対象

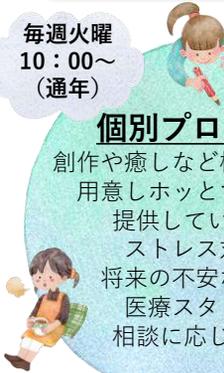
診療圏内（片道1時間程度）にお住まいで緩やかにデイケア・地域移行を目指す方

### プログラムについて

毎週火曜  
10:00～  
(通年)

#### 個別プログラム

創作や癒しなど様々な活動を  
用意しホッとできる場を  
提供しています。  
ストレス対処や  
将来の不安などにも  
医療スタッフが  
相談に応じます。



毎週金曜  
10:00～  
(通年)

#### からだケア

簡単な運動や  
リラクゼーション  
健康に関する  
レクチャーを通して  
心身の調子を整えます。  
体力づくりや  
外出のきっかけにも…。



水曜10時～  
全14回  
クール制

#### こころケア

認知行動療法や  
マインドフルネス  
セルフコンパッション等  
こころをケアする術を  
やさしく解説し、  
体験ワークを通して  
自分をいたわる方法を  
学びます。



## 社会復帰支援（疾患別外来OTの概要）

専門疾病センター（てんかん・睡眠障害・薬物依存症・認知症）と連携した、  
OTによる疾患別の集団プログラム

### てんかん学習 プログラム

【対象】  
てんかんのある方  
【内容】  
てんかんについての知識  
や自分自身で対処する方  
法、社会参加等について  
全3回で学ぶプログラム  
です。

月曜13時～  
夏・冬季休み開催  
8/5～、9/2～、  
12/23～



### 睡眠力UP プログラム

【対象】  
睡眠障害の方  
【内容】  
眠りの仕組みやより良い  
睡眠を得るための過ごし  
方や環境設定などをレク  
チャー&ワークを通して  
全4回で学びます

月曜13時～  
5月、7月、10月、2月  
開催予定



### Real生活 プログラム

【対象】  
各種依存を抱える方  
【内容】  
ハームリダクションの理  
念を基に、依存を断つこ  
とが難しい現実 (Real)  
と向き合いながら、健康  
的な生活への気づきを促  
し働きかけていきます。

火曜 毎週火曜13時～  
通年実施中



### 脳と身体の いきいき健康 プログラム

【対象】  
MCI(軽度認知障害)の方  
【内容】  
認知症予防に関するレク  
チャーと体験を組み合わ  
せた全5回のワーク  
ショップです。

木曜13時～  
6月・11月・2月  
開催予定



## 社会復帰支援

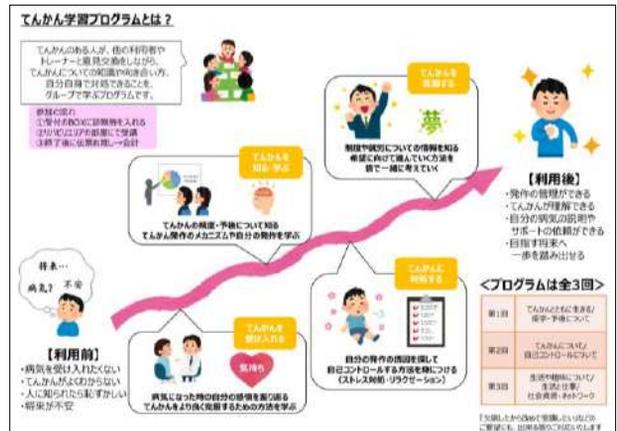
### てんかん学習プログラム

MOSESをベースに認知行動療法や就労に関する情報をプラスした全3回のプログラムを提供している。

学校・仕事で  
平日昼間に  
9回は無理



夏季・冬季講習として  
実施しています



## 社会復帰支援をする際に…

### 発作の現状 + 具体的対応方法をしっかり伝える

医療スタッフがそろった場ではあるが、全員がてんかんの知識があるわけではないため、デイケアの利用を躊躇しやすい。

発作の際の対応や、そのほかの症状に対しても具体策を伝えることで利用につながりやすい

発作後にぼーっとすることが  
あります。  
何か伝えるときはメモに書いて  
渡してください



コーディネーター

デイケアスタッフ

# 精神科デイケアを利用するメリット

## 医療従事者が常駐している

運営スタッフが医療従事者であるため、発作の際や精神症状の悪化があった際、適切な対応を受けやすい

## 社会復帰へのステップとして利用できる

障害福祉サービスや具体的な就労・復学等につなぐにはハードルがある際、自分のペースで通いやすく、社会復帰へのステップとして利用しやすい

## 社会適応訓練になる

プログラムを通して、集団になじむための練習になったり、同じ悩みを抱える仲間と話をすることでセルフスティグマの緩和が期待できる